

岡田のりひとの活動記録



岡田のりひとのこれから!

平成28年度松山市の当初予算3898億が3月定例会で決まりました。一般会計も過去最大の1810億円、民生費においては50%を超えてしまいました。少子高齢化が進む日本で想定できる状況です。世界でも類を見ない日本の少子高齢化、このような中地方都市で何が必要でしょうか。私は子育て世代、働く現役世代が住みやすい街づくり、子供たちがのびのびと健やかに育つ街づくりに力を注ぐことが必要だと思います。第二子保育料無料化、子供の医療助成拡充、病児保育制度の充実など、これらの施策の実現に取り組んでいくことで現行の社会保障制度を維持していくための好循環を生みだしていきたいのです。実現のためには多くの壁がありますが、市民の皆様からいただく声をしっかりとうけとめ、そして自分自身を研鑽し、粉骨砕身、**松山市議会議員** 岡田 教人 実現に向けて努力してまいります。

松山市議会議員
岡田 教人

POST CARD



Smile Report
松山市議会議員
岡田のりひと 市政報告 Vol.2

Facebook
日中更新中

収まりきらないその他の活動
記録はこちらからチェック!

年間イベント 是非ご参加ください!

- 1月新春もちつき大会 ●8月バーベキュー大会
- 10月16日岡田のりひとパースデーコンペ

〒791-0114松山市南白水2-6-12
岡田教人事務所



ごあいさつ

Greetings

松山市民の皆様、ご支援いただいている皆様方、日頃より多大なるご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

議員活動も瞬間に2年が経過しました。日々多くの学びをいただき、市議会議員として確実に一步一步、成長の歩みを進めております。これも一重に皆様方のご支援の賜物と、重ねて感謝して申し上げます。

私はこんにちまで、市民福祉委員会、地方創世調査特別委員会、議会改革特別委員会に所属し、委員として喧々諤々議論を交わしてまいりました。そして、行政のチェック機能としての責務を果たすことはもとより、若者がこの松山市を支えていかなければならないと気概をもって活動をしてまいりました。

このたび、市議会議員任期折り返しの節目に当たり、私が議場に登壇させていただいた議会での一般質問を中心に、日々の議員活動のご報告をさせていただきます。

この市政報告書だけでは岡田のりひとの議員活動のすべてをお伝えすることが

できませんが、私の想いや方向性が皆様にご理解いただければ幸甚でございます。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻たまりますよう、そして、最後までお目を通させていただきますようお願い申し上げます。報告書Vol.2発行にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

<略歴>

議会改革特別委員会 委員
地方創生調査特別委員会 委員
市民福祉委員会 委員

発行：岡田教人事務所



議会のご報告

初当選以降、これまで議会にて4回の一般質問の機会をいただきました。

地方創成の流れの中で新しいことに取り組むためには、歳出施策だけでなく、歳入についても議論しなければなりません。これから社会保障制度を支えていく若者や子育て世代が住みやすい街づくりを中心に質問をしました。

無い袖は振れませんから、歳入にも着目し、質問することは重要です。

一般質問

質問内容

平成26年6月議会(初登壇)

少子化対策について

(1) 未婚化、晩婚化について (2) 子ども・子育て新制度について

平成26年12月議会(2回目登壇)

人口減少対策について

(1) 人口減少がもたらす影響について (2) 施設マネジメントについて
歳出入について

(1) 歳出について(事務事業の見直し) (2) 歳入について(ふるさと納税・
税収アップ)

平成27年6月議会(3回目登壇)

行財政運営について

(1) 遊休公有財産について (2) 交友財産の活用について
(3) 民間委託について (4) PPPについて

平成28年3月議会(4回目登壇)

大都市からの人の流れと移住

(1) 高齢者の受け皿(サ高住)について (2) 若者の受け皿について(移住者受入団体支援事業)
(3) 事業継承について (4) 移住者の就労場所について(農地の活用・管理) (5) 移住促進効果の高いCCRC構想について